

フォトコンテストは、米坂線整備促進期成同盟会の主催で募集が行われ、「米坂線の車両」「米坂線とひと」の2部門に32人、86点の応募がありました。

審査は2月13日、内山晟さん（新潟県写真家協会副会長）や柏倉信吉さん（山形県広告写真家協会会長）、平田大六期成同盟会会長が行い、10点の入賞作品を決定しました。

第2回「米坂線に乗って、 米坂線を写そう！」

フォトコンテスト入賞作品

* 敬称略。作品はカラー写真です。

米坂線の車両部門

最優秀賞 「宇津峠を越えて」



横井良人(村上市)

入選 「秋の中」



長谷川 裕(新潟市)

佳作 「雪煙乱舞」



宇尾野 智(阿賀野市)



横田雅彦(新潟市)

優秀賞 「宇津峠」

佳作 「移り気な季節(そら)の下をゆく」



吉村英俊(高島町)

審査員特別賞 「ようこそ!ロマンチックトレインへ」



横井良人(村上市)

優秀賞 「雪の日」

神尾 彰(米沢市)



入選 「アッ来たよ！」



小笠原千代子

(長井市)

佳作 「家路」



吉村英俊

(高島町)

佳作 「確認」

小笠原 弘(長井市)



随想リレー

49

先生から
先生に



杉原麻衣子 さん

(関川中学校・事務主事)

『メガスターIIコスモス』
という五百万個の恒星を映し出すプラネ
タリウムの投影機があるそうです。
いつか見に行きたい憧れのプラネタリ
ウムです。

プラネタリウムは普段は目に見えない
星までも映し出してくれますが、それ
も本物の星空とは違います。

夏に、友人と田んぼの真ん中に寝転が
り、蚊に刺されながら見た星空と飽きる
くらいたくさん流れ星。

冬には、たくさん雪に音が吸い込ま
れた静寂の中、オリオン座を見上げ、友
人たちと肉まんを食べて歩きました。

普段の生活で何気なく、夜空を見上げ

ると昔見た星空を思い出します。思い出
すときは必ず、そのときの状況や一緒に
いた人たち、気持ちまでがセットになり、
鮮明によみがえってきます。

「どんな星空だった？」と聞かれたら
「キレイでした」としか答えられないの
に、なぜかそのときの状況はハッキリ覚
えています。星空と一緒に見た物、感じ
た気持ちは忘れられないのだと気づきま
した。

静かに見上げる星空の季節が終わり、
桜の花の向こうに星空を見上げる季節が
やってきます。関川村での二年目の春で
す。星空を見上げる思い出を増やしてい
きたいです。

5月1日号は、大倉登志美さん(女川小)に
バトンタッチ！